

認知症あんしん生活実践塾 In 八峰町

2 0 2 5

～家族で治そう認知症～

実施報告書



主催 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会
社会福祉法人八森峰浜ふくし会
認知症あんしん生活実践塾2025実行委員会
後援 八峰町
協力 能代山本地区老人福祉施設連絡協議会

1. 研修会実施要領

(1) 研修会の目的

現在の高齢化社会では、人口の多くが高齢者を占め、特に認知症患者の増加が深刻な問題となっています。高齢化に伴い、認知症は単なる老化現象に留まらず、医療や福祉の負担を増大させ、社会全体での対応が求められています。

そのような状況の中、一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 竹内孝仁顧問の提唱する「認知症治療すケア」を広く一般住民の方々に周知していただき、在宅で認知症の方を介護するご家族の支援や認知症となった方々がいつまでも住み慣れた在宅で生活ができるよう、「認知症あんしん生活実践塾 2025」を開催いたしました。

(2) 実施日時

令和7年7月26日(土) 13:00~16:00

(3) 実施会場

八峰町文化交流センター ファーガス

(4) 参加者

109名(介護家族者、一般、高齢者福祉関係者等)

2. 研修会場

(1) 研修カリキュラム

12:30 開場

13:00 開会・開演

主催者挨拶 社会福祉法人八森峰浜ふくし会

理事長 金平公明

来賓挨拶 八峰町長 堀内満也町長

13:05 第1部 講演「認知症を治すケア その理論と実践(2)」

講師 一般社団法人日本自立支援介護・パワーリハ学会 顧問 竹内孝仁

14:00 休憩・換気

14:10 第2部 シンポジウム

座長：国際医療福祉大学大学院 准教授 小平めぐみ

報告①物取られ症状が消えた～外出ケアがもたらした効果～

演者：松波苑ユニット 佐藤 登美子

報告②自立した生活を送るために！

演者：八峰町あんしん生活実践塾 海光苑 成田 佐和子

報告③「デイサービスでもお手上げ」～諦めずにかかわってもらった結果～

演者：認知症あんしん生活実践塾 福寿園 坂本 真

報告④認知症介護と私～介護者の在り方と、家族の記録～

演者：小平市認知症あんしん生活実践塾 塾生（白梅学園大学学生）

15:05 ディスカッション

パネリストと会場を交えてのディスカッション

15:50 次回開催案内：閉会挨拶

16:00 閉会

(2) 研修内容

①第1部 講演「認知症治療ケア」

竹内孝仁顧問より、あんしん塾での事例をもとに、「認知症治療ケアの全体像」についてご講演をいただきました。講演では、認知障害ケアや感情心理障害ケアにおける認知症状の改善事例を紹介していただき、さらに BPSD(行動・心理症状)の原因となる介護者の「上から目線」のアプローチを指摘し、これを「フレンドシップケア」へと転換する方法について解説されました。このアプローチは、認知症治療ケアにおける重要な進展とされています。

講演を通じて、新しい認知症治療ケアの方法に参加者一同が関心を深め、実践に向けた意識を新たにしました。

②第2部 シンポジウム

各認知症あんしん生活実践塾の塾生から実践報告が行われました。塾生自身の生の声を通じて、具体的な実践例を聴くことができ、参加者は認知症ケアの基本ケアの重要性や、実際に認知症が改善できることを実感している様子でした。

③パネリストと会場を交えてのディスカッション

会場からご家族に「取り組むのは大変か、実践してどうだったか」と質問したところ、ご家族から以下のような回答がありました。

「竹内先生の著書と出会い、4つの基本ケアを実践しました。水分は1600mlくらい摂っていました。特に大変だったのは散歩でしたが、働いているため思うように進まないこともあり、海光苑を利用することにしました。施設との関わりで、母がキラキラと輝いているのを見て変化を実感し、4つの基本ケアをしっかり行うことで家族としても大きな変化を感じました。」とのことでした。

また、実際に介護に携わっているご家族の声を聞け、参加者同士で意見交換ができ、大変有意義なシンポジウムになったと思います。



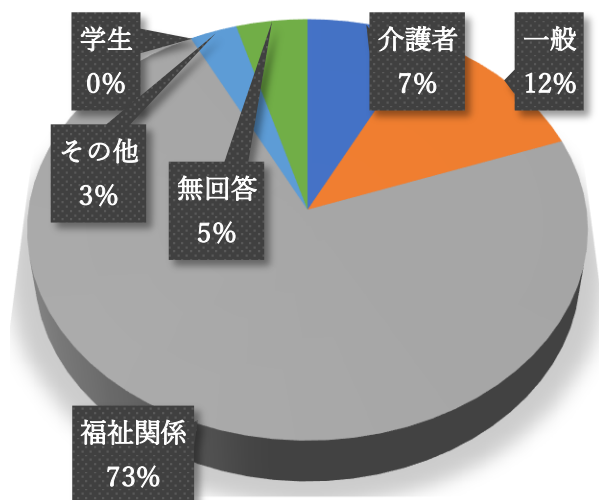
3. アンケート結果

(1) アンケート回答者

アンケート回答者 67 名 回答率 71.3%

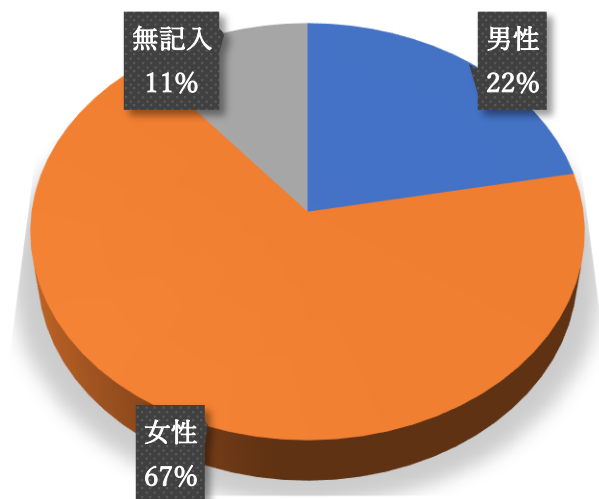
(2) アンケート結果

①参加者属性



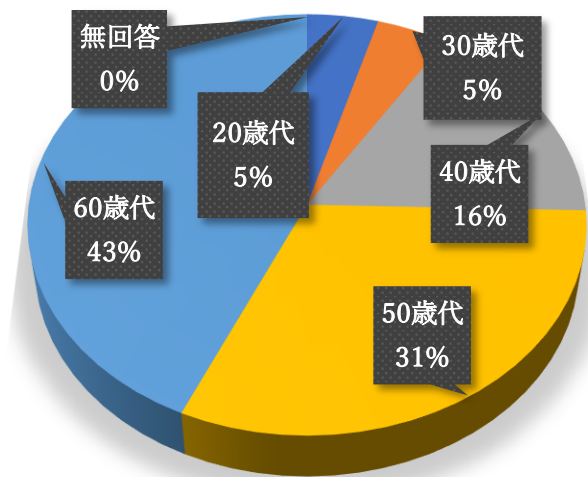
介護者	5 名	7%
一般	8 名	12%
福祉関係	49 名	73%
学生	0 名	0%
その他	2 名	3%
無回答	3 名	5%

②参加者性別



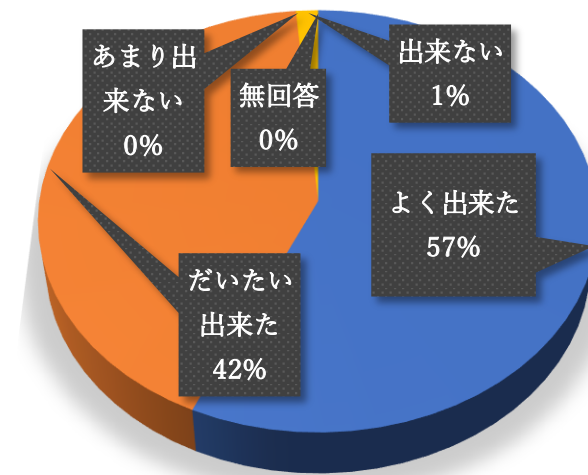
男性	15 名	22.0%
女性	45 名	67.0%
無記入	7 名	11.0%

③参加者年齢



20 歳代	3 名	5%
30 歳代	3 名	5%
40 歳代	11 名	16%
50 歳代	21 名	31%
60 歳代	29 名	43%
無回答	0 名	0%

④本日の大会内容についてご理解できましたか？

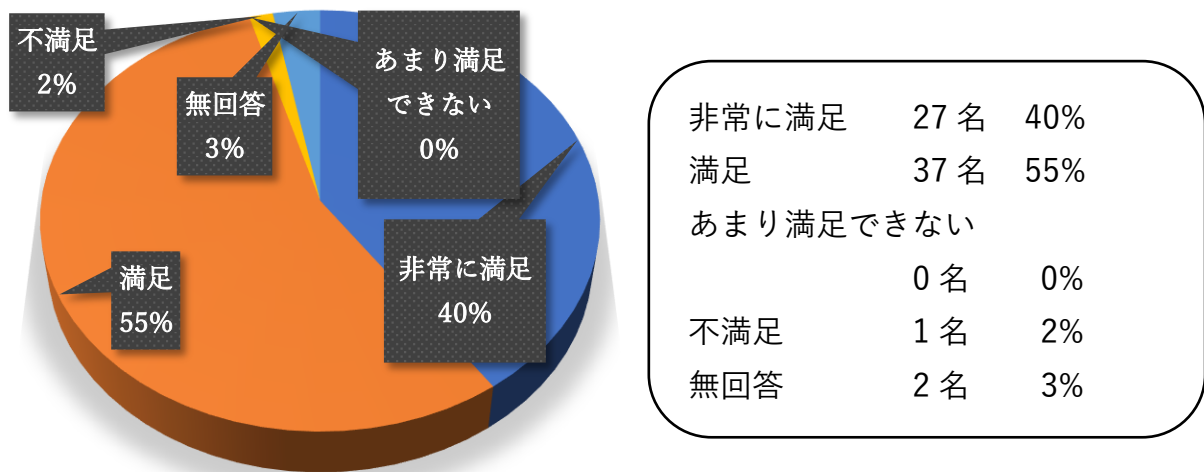


よく出来た	38 名	57%
だいたい出来た	28 名	42%
あまり出来ない	0 名	0.0%
出来ない	1 名	1%
無回答	0 名	0.0%

【ご意見】

- * どの発表も分かりやすい発表でした。
- * 実際に介護している家族の方の話を聞けて貴重な体験だった。
- * 水分を摂るという事の大事さが分かった。
- * 生活歴、ケアが大事だと改めて感じた。
- * 認知症の考え方が変わった。
- * 水分の大切さを再認識しました。
- * 最初の話しが聞き取りづらかったのが残念だった。
- * 社会的に仕事を（なりふり構わず）頑張ったと自負している方ほどプライドが高い気がしています。アイデンティティを支援することは大事ですが、多くの人を相手にはなかなか難しいですねと思う日々です。

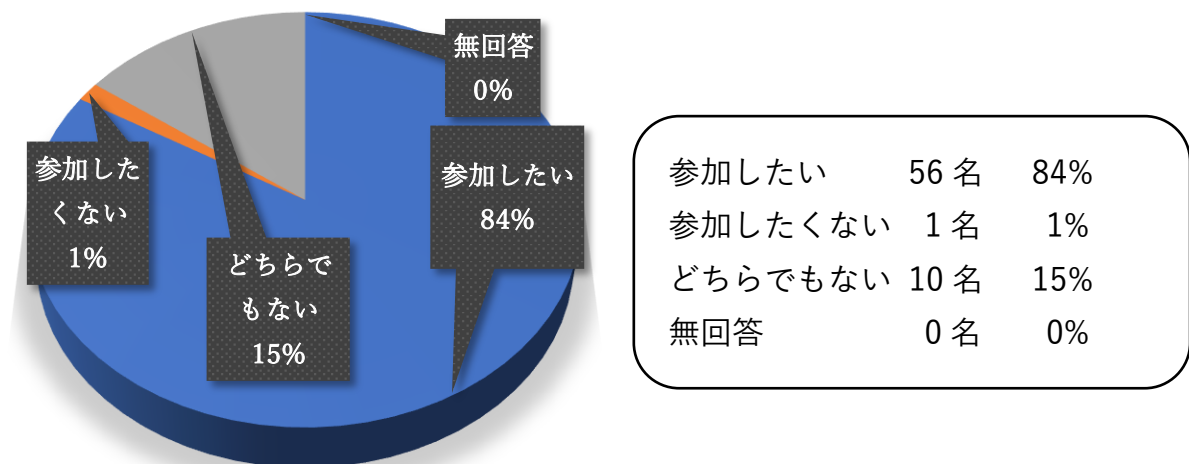
⑤本日の大会内容は満足されましたか？



【ご意見】

- * 知りたい内容を聞くことが出来た。
- * 様々な角度からの内容で良かった。
- * 水の大切さや運動が大事だと分かった。
- * 家族からお話を聞けて良かった。
- * 参加出来なかった人にも伝えたい。
- * 実際に参加した方が感動できるので他の人にも次回参加してもらう。
- * とても勉強になりました。
- * 申し込み案内が分からづらかった。
- * 水分・運動ショッピング等でいろいろと改善され、すごいとおもった。
- * 基本の4つ以外に大切なのが改めて理解出来た。残りの問題解決のための理論と実践に対して新しい知識とすることが出来た。

⑥また参加したいですか？



【ご意見】

- * フレンドシップケア出来る職員になります。
- * 上から目線はやってしまっている自覚あり。全体で話し合いが必要。
- * また機会があれば参加したい。
- * 是非また勉強したいと思いました。

⑦ご意見、ご感想がございましたら、ご記入ください（研修に参加して）

【ご意見】

- * わかりやすい構成、内容でした。
- * とても貴重な研修でした。ありがとうございました。
- * 3名の発表を聞いてとても勉強になる発表だったと思います。参考になりました。
- * 1時間飲水しないと喉が渇くし、座りっぱなしだとお尻が痛いことを実感しました。ケアに生かします。
- * 勉強になりました。
- * いろいろと実践してみたいと思った。
- * 介護士同様に勉強しているつもりで関わっていますが、なかなか難しい物と感じております。3時間デイサービスで個別的な関りは困難と考えております。
- * 個別会議の必要性を再認識しました。
- * BPSDについてフレンドシップケア、とても分かりやすく、すぐに実践出来そうです。
- * 事例発表素晴らしかったです。聞き取りやすく発表されており、ケアの大事さを実感しました。
- * いろいろなケースの話を聞くことが出来て良かった。
- * 今後も基本ケア＋ショッピングを継続しながら日々のケアに取り組んでいきたいと思います。
- * 大変すばらしい発表でした。
- * 自分も家族もいつ認知症になるかもしれないので、その時に参考にしたい。
- * 実際にご家族の意見を聞けたので、介護従事者としてはありがたく感じました。
- * 認知能動療法・WEBでの講義を含めて再度学習することが出来た。
- * 定期的に八峰町開催して欲しい。
- * 普段聞けなかった介護の実践例を聞けて大変有意義な時間となりました。
- * 認知症の改善・消失のアプローチといて、その人の生活歴を知るというのは、大変重要な事であり学ばせていただき、大変ためになる研修会でした。
- * 第2部の資料がないのが不便だった。

- * メモする時間を儲けて欲しかった。
- * 認知症は高齢化の重要な問題ですので、また別の角度でもお願いします。
- * 水分をたくさんとるようにします。
- * フレンドシップケアの重要性が理解出来ました。
- * とても参考になりました。自分の生活にも十分に取り入れ、明るい老後を楽しみたいです。

4. まとめ

今年度の大会は、当日の申し込みを含め、県内外から 100 名を超える参加をいただき、塾生の報告を Web で行うなど、盛大に開催することができました。

大会としては、第 1 部の講演において音量が低く、聞き取りづらかった一部の声や、Web 参加者の接続に若干の苦労がありましたが、大きなトラブルもなく、予定通りの時間で順調に終了しました。

アンケートの回収については、71.3%の回収率となりましたが、その結果については以下の通り考察します。

参加者の多くは福祉関係者でしたが、介護者や一般の方も 13 名参加されており、年齢層は 40 歳以上が大半を占めていました。大会内容については、98.5%の方が「よく理解できた」と回答しており、4 つの基本ケアの重要性はもちろん、「介護者・ご家族の生の声を聴けたこと」「水分摂取の重要性」「認知症に対する考え方が変わった」などの感想が寄せられ、参加者の満足度も高かったことがうかがえます。

また、「次回も参加したいか」という質問に対しては、「また機会があれば参加したい」「是非また学びたい」との回答があり、認知症の改善・予防に対する意識の高さを感じました。

さらに、「ご意見・ご感想」については様々な意見をいただきました。前向きな意見としては、「フレンドシップケアが非常に分かりやすく、すぐに実践できそう」「実際にご家族の意見を聞いて非常にありがたかった」「自分の生活にも十分取り入れ、明るい老後を楽しみたい」といった感想がありました。一方で、「定期的に八峰町で開催してほしい」「認知症は高齢化社会における重要な問題であり、別の角度からのアプローチも希望する」といったご意見もありました。

このように、あんしん塾の必要性を理解していただいたことから、非常に意義のある開催となったと考えています。

認知症になっても、安心して住み慣れた地域で暮らし続けられること、また認知症が改善できることを前提に、地域社会づくりに貢献できるよう、今回のアンケート結果をもとに本会をさらに発展させ、今後も継続していく所存です。

今年度は3年ぶりの開催となりましたが、開催にあたりご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

認知症あんしん生活実践塾 2025 実行委員会